

## 2019年度 基礎コース講師紹介と講義概要

### 第1回 講師：鐘 幹一郎

広島大学名誉教授・前京都文教大学学長（教育学博士）

#### 「カウンセリングについて-自分を知り、周囲を知る」

私たちが日ごろ、生き生きしているとき、心の中では何がおこっているのでしょうか。普段はあまり意識していませんが、安心感、安全感、信頼感は私たちを支える大事な心の状態です。スクールでは、日常生活での心の大事さ、あり方を理解し、さらに心の苦しみを和らげる援助の方法について学びます。これをカウンセリングと言います。その広さや深さについて一緒に考えていきましょう。スクールでの学びの全体的な案内も致します。

### 第2回 講師：藤沢 敏幸

安田女子大学心理学部現代心理学科教授

#### 「グループ・ワーク-仲間づくりの最初の一步-」

これから1年間、共に学習をしていく受講生同士の関係作りを目的としています。グループ・カウンセリングの手法を体験したり、簡単な役割演技をしたりと楽しみながら進めます。

### 第3回 講師：桑原 知子

京都大学大学院教育学研究科教授（教育学博士）

#### 「カウンセリングとは何だろう-カウンセリングのこころ-」

カウンセリングとは、何をやるものなのか？何をめざし、どのような方法でおこなうのか？実際のカウンセリングではどのようなことがおこっているのか？日常生活で生かすことができる「カウンセリングのこころ」とは？など、たくさん「？」の答えを、実習し体験しながら探していきます。

### 第4回 講師：塩山 二郎

(株)心理臨床センターしおやま代表取締役

#### 「対人関係の始まりから青年期

##### -赤ちゃんの“口”から始まる対人関係-

対人関係は、赤ちゃんの口と母親の乳首から始まります。この関係の在り方によって、人格の形成にも影響をあたえます。その後、思春期青年期と言われる時期も、とても大切で、もう一度親との関係を確認し、独り立ちの準備をします。その目にみえない内面の努力について目を向けてみましょう。

### 第5回 講師：岡本 祐子

広島大学大学院教育学研究科心理学講座教授（教育学博士）

#### 「成人期・中年期-人生半ばの峠をいかに乗り越えるか-」

中年期は人生半ばの峠にあたり、ライフサイクルにおける重要な発達の危機期をむかえます。中年期の心理面接事例をもとに、中年期の発達・臨床的な理解と援助について解説していきます。

### 第6回 講師：林 智一

香川大学医学部 教授 博士（心理学）

#### 「高齢者の心理と支援-人生終盤を迎える心の危機-」

最近、流行っている「終活」に向かわせる心の働きは何なのでしょう？高齢期の心の危機、カウンセリングにおける留意点、ライフレビュー、認知症高齢者に対するカウンセリングを中心に解説を行います。この講義を通して、介護、そして自分自身の老後を見つめ直す機会となることでしょう。

### 第7回・8回 カウンセリング演習 前期1・2

講師：勝見 吉彰 県立広島大学保健福祉学部准教授  
高田 晃治 山陽女子短期大学人間生活学科教授

#### 「紙上応答訓練 言動の意味とその違い」

共感的態度ならびに基本的応答技法について学習し、応答訓練によって体得していきます。

### 第9回 講師：松田 真理子

京都文教大学 臨床心理学部教授（臨床心理学博士）

#### 「職場のメンタルヘルスと自殺予防」

私達の日常は様々なストレスに充ちていますが、何事も表裏一体であるように、ストレスにも建設的側面と破壊的側面の両面があることを理解し、自分なりのストレス対処法を身につけておくことはレジリエンス（精神的回復力）を培うことに繋がります。また、日本は先進国において自殺率が極めて高い国の一つですが、自殺予防についての現実的視座も学びましょう。

### 第10回 講師：林 章敏

聖路加国際大学がん看護学・緩和ケア臨床教授  
聖路加国際病院緩和ケア科部長

#### 「老いと病への向き合い方-死の臨床-」

自分自身が死と向き合った時、死に向き合っている患者と家族に接する時など、揺れ動く気持ちをどう捉え、支えていくのかを考えます。ホスピス・緩和ケア病棟で繰り返される様々なケアを通して、身体や心のつらさや、スピリチュアルな問題にもふれ、誰もが避けて通ることのできない「死」について学びます。

### 第11回 講師：山本 力

就実大学大学院教育学研究科教授 博士（心理学）

#### 「人生における喪うこと、別れること

##### 喪失と悲哀の心理臨床」

死別や別れには、悲しいが自然な別れがある一方で、痛恨の不条理な別れもある。だから大切な人との別れは、時に私達の人生に大きな影響を与えます。喪失と悲哀の体験をどう乗り越えるのか、今年度は自責の念や悔恨にも焦点を当てたいと思います。参考文献『喪失と悲嘆の心理臨床学』

### 第12回 講師：杉田 峰康

福岡県立大学名誉教授 日本交流分析学会名誉理事長

#### 「交流分析-心理ゲームでひも解く人間関係-」

心の健康に基本となる「自分とは」を知る方法としての分析を学びます。人間関係を「心理ゲーム」、理想の人生と違う人生を「人生脚本」としてとらえ、健全な人間関係のあり方を自己コントロールする方法を考えてみましょう。

### 第13回 講師：横井 公一

医療法人微風会浜寺病院（精神科医）

#### 「精神分析入門-フロイトを知ろう-」

精神分析は、フロイトがはじめた精神療法・心理療法であり、現代のカウンセリングの源流ともいわれています。とっつきにくいと思われがちなフロイトの精神分析の理論と技法をわかりやすく解説します。



第14回 講師：名島 潤慈  
山口大学名誉教授・山口学芸大学教育学部教授 博士（心理学）

「夢分析とカウンセリング-夢は何を語っているのか-」  
カウンセリング場面で夢が報告されたとき、その夢をどう扱ったらよいのでしょうか。夢分析の方法、ポイント、留意点について説明し、夢分析の歴史や夢の自己分析についてもお話しします。

第15回 講師：西村 良二  
福岡大学医学部総合医学研究センター教授（医学博士）

「うつ病の理解-治療のゴールはあるのか-」  
うつ病と一言でいっても個人個人で異なる理解と治療的視点を持たなければなりません。発病の原因は？その人にとっての治療のゴールは？薬のメリットとデメリットは？などについて解説していきます。

第16回 講師：西村 良二  
福岡大学医学部総合医学研究センター教授（医学博士）

「統合失調症と神経症  
-何かに怯える心・やめたいのにやめられない心-」  
統合失調症、神経症は人によって病態水準が異なるために、その人によって異なる理解と治療的視点を持つことが大切です。各疾患の特徴から治療のゴール、薬物療法のメリットとデメリット、カウンセリングの焦点を考えていきます。

第17回・18回 カウンセリング演習 中期1・2  
講師：勝見 吉彰 県立広島大学保健福祉学部准教授  
高田 晃治 山陽女子短期大学人間生活学科教授

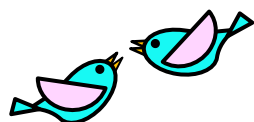
「ロール・プレイ カウンセラーを体験してみよう」  
実践的な学習としてそれぞれが役になりきり、ロール・プレイを体験してみます。

第19回 講師：湊崎 和範  
独立行政法人国立病院機構広島西医療センター小児科医長

「学業期の発達障害-理解と対応-」  
発達障害者支援法の施行や特別支援教育の広がりの中で、発達障害は注目を集めています。発達障害の基本的な特徴を理解し、支援（手助け）という発想からどのようにかわっていけば良いのかを解説します。その子の特性に合わせた環境調整や対応の工夫について考えていきます。

第20回 講師：松田 文雄  
医療法人翠星会松田病院 理事長・院長

「成人期の発達障害-理解と対応-」  
近年、発達障害は広く知られるようになってきましたが、成人期の発達障害に関する理解と対応はまだ、十分に知られていません。発達障害ではないかと悩む人、周囲を感じる人も増えてきています。多くの方が社会生活上の困難を抱えています。特性を正しく理解し適切に対応することで当事者だけではなく周りの人たちも、より良い社会生活を送るために学習をしていきます。



第21回 講師：嘉嶋 領子  
かしまえりこ心理室

「不登校とカウンセリング  
-いじめ、発達障害、さまざまな視点から-」  
不登校の背景にはさまざまな要因が関係しています。それらについて読み解きながら、教師や保護者と協力し、子どもたちの将来を、希望をもって、ともに考え、支えるカウンセリングのあり方について考えていきます。

第22回 講師：浦田 英範  
西南学院大学人間科学部心理学科教授

「トラウマと被害者支援  
-被害者が被害者であり続けられないために-」  
被害者支援とは、自然災害、特殊災害、そして、犯罪被害に遭遇した方々への支援の事を言います。その時点のつらい体験だけではなく、トラウマ（心の傷）となりその後も苦しい思いを抱えたままの方もいます。カウンセリングで、その心の傷が癒される過程について検討していきたいと思えます。

第23回 講師：熊谷 郁夫  
元首席家庭裁判所調査官

「非行少年は怖い？  
非行を“こころの問題”として理解してみよう」  
非行少年は本当の姿を見せてくれません。そのため危険で怖い人という印象を与えがちです。しかし非行は「心の問題」として理解することもできます。きっと非行のイメージが変わってくると思います。

第24回 講師：村上 雅彦  
広島ファミリールーム所長

「家族の問題と家族カウンセリング」  
家族に対する援助はとても大切なことですが、家族メンバーには、それぞれ考え方や立場があり、みんなにとって満足できる支援するには、そのための方法が必要になります。家族療法は、家族に関わる上で必要なものの見方、考え方、対応方法を提供してくれるものです。具体的な事例を通して、その方法論を解説し、歴史的な流れや現況についてもふられていきます。

第25回・26回 カウンセリング演習 後期1・2  
講師：勝見 吉彰 県立広島大学保健福祉学部准教授  
高田 晃治 山陽女子短期大学人間生活学科教授

「ロール・プレイ カウンセラーを体験してみよう」  
カウンセラー役を演じたロール・プレイの逐語記録を作成し、それをもとにディスカッションを行います。

第27回 講師：藤沢 敏幸  
安田女子大学心理学部現代心理学科教授

「フォローアップ・セッション -仲間との分かち合い-」  
講義や演習で生じた疑問やコメントをみんなで出し合い議論を行っていきます。同じ講義を聞いても受け取り方の違いがあることを知り、これまでの学習を深化させていきましょう。小グループに分かれて受講生同士で考えを出し合い1年間の総まとめを行います。

